

アクセス方法
 <電車>
 東京駅から：JR京葉線・内房線（特急さざなみ）「館山駅」
 →平砂浦（車で約15分）
 千葉駅から：JR内房線「館山駅」→平砂浦（車で約15分）
 <高速バス>
 東京駅前→JRバス・日東交通（房総なのはな号）「館山駅前」
 →平砂浦（車で約15分）
 <車>
 京葉道路もしくは東京湾アクアライン
 →館山自動車道・富津館山道路「富浦IC」→国道127号
 →国道410号を白浜方面へ。「房総フラワーライン」に面した
 海岸が「平砂浦」（東京からおよそ2時間）

memo



小さな旅

～こころのふるさとをみつめて～

コブック vol. 146

砂に咲く夢
 ～千葉県 館山市平砂浦～

2014年6月8日(日)放送

小さな旅 ホームページ
<http://nhk.jp/kotabi>



平砂浦の海岸線約4.5キロ、110ヘクタールに渡って
 クロマツを主とした林が広がっています。強い風による
 土地の人たちを苦しめた砂との戦いの歴史をいまに
 伝える場所です。一方、子どもたちがとっては、幼いこ
 ころから家族や友達と何度となく訪れるなじみ深い遊び
 場。地元中学校陸上部では、砂の斜面でのトレーニング
 が伝統です。平砂浦と太平洋が一瞥できる頂上からの
 眺めも含め、子どもたちを育む大切な場所になっています。

受け継ぎ守られる防風林

旅の見どころ 3



平砂浦から吹き上げられた砂が、海岸から1キロも
 離れた山の斜面にたまってできた「砂山」は、かつて
 土地の人たちを苦しめた砂との戦いの歴史をいまに
 伝える場所です。一方、子どもたちがとっては、幼いこ
 ころから家族や友達と何度となく訪れるなじみ深い遊び
 場。地元中学校陸上部では、砂の斜面でのトレーニング
 が伝統です。平砂浦と太平洋が一瞥できる頂上からの
 眺めも含め、子どもたちを育む大切な場所になっています。

子どもたちを育む砂山

旅の見どころ 2

房総半島の南端、太平洋に面し5キロの砂浜が続く
 千葉県館山市平砂浦（へいさうら）。

かつて「房州砂漠」と呼ばれた荒れ地は、戦後防風林
 が築かれ耕作地が広がりました。子どもたちが走り込
 み、サンドボードに興じる「砂山」は、砂との闘いを今に
 伝えます。砂地の畑では、手塩にかけ育てられた切り花
 のひまわりやトウモロコシ。防風林の保全を続ける
 地元の人々や、サーフィンに夢をかける若者もいます。
 風と砂に抱かれた暮らしを訪ねます。



旅の見どころ 1

砂地に咲くひまわり

平砂浦の西側に位置する西岬（にしざき）地区は花の
 栽培（切り花）がさかん。初夏6月はひまわりの出荷の
 最盛期です。作られているのは花束などで人気の
 小ぶりのひまわり。美しく丈夫で長もちする花が
 作れるのは、平砂浦特有の砂の畑だからこそ。やせた
 砂地がひまわりの生命力を最大限に引き出すとい
 います。16軒の生産者が手塩にかけた太陽の花が
 都会にひと足早い夏を届けます。

